

テーマ：観光（実践校）

十勝管内 帯広市立清川中学校

■本実践のポイント（概要）

- ・地域に対する誇りや愛着を育むため、地域の農業の歴史等について調べる活動を位置付けるとともに、地域の農家を講師とした栽培活動や収穫した野菜を使った料理のレシピの提案等を通して、地域の農業や農作物について探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

他教科等で学習した地域の農業に関する内容を想起させ、地域で主に栽培されている野菜（ジャガイモ、トウモロコシ、豆類）の栽培方法や生産性を高める工夫などについて考えさせ、「地域で栽培している野菜を育て、素材のよさを生かした料理を提案しよう」という学習課題を設定しました。



【外部講師による説明の様子】

(2) 情報の収集

農業を営む保護者の方を外部講師として招聘し、地域で主に栽培している野菜の特徴や栽培に至るまでの経緯などに関する講話を聞き、課題解決に取り組みました。

また、学校の農園で畑を耕したり、苗を植えたりするとともに、生産性を高めるための工夫や品質の管理の在り方などについて学び、栽培活動に取り組みました。

さらに、野菜の収穫後は、素材を生かしたピザやスイートポテトの料理のレシピを考えました。



【マルチを張る生徒の様子】

(3) 整理・分析

講話や栽培活動の情報から、「開拓時代から始まった畑作を受け継ぎ、今では品種改良によって多様な品種を栽培している」「生産性や品質を高めるためには、雑草取りを丁寧に行うことや追肥を行うこと、水の管理を行うことが重要であること」「清川地区の農作物のよさを管外の人たちにも広く知ってほしいと考えていること」などについて理解し、地域の農業の歴史や農家の方々の思いなどを踏まえて料理のレシピについて考えました。

(4) まとめ・表現

学習の成果として、地域の農業の歴史や農作物の素材を生かした料理のレシピについての発表会を行いました。発表会や振り返りなどから、生徒は、野菜の生産性を高めるための努力や農作物の価値を高めるための工夫などについて更に関心を高め、新たな疑問や課題等を見出していました。

②生徒の感想等

- ・地域で栽培している農作物の歴史や特徴などを調べたり、自分たちで農作物を育てたりする活動を通して、適した環境で農作物を育てることの大変さと、農家の方々の努力について理解することができました。
- ・栽培活動を通して、農作物に込めた生産者の思いを知ることができ、今後は地域の農作物のよさを管外にPRしていく活動に協力したいと思いました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 学習後のアンケート「北海道や自分たちの住んでいる地域に誇りや愛情をもっている」と回答した生徒の割合が29%から44%に増加したことから、探究的な学びのプロセスに農園活動を位置付け、農作物の栽培から収穫・調理までのプロセスと関連付けながら学習を展開したことは効果的であったと考えられます。
- 観光教育に関する指導の充実に向けて、今後は、地域のよさを客観的に把握したり、地域のよさをPRしたりする活動を位置付けた探究的な学習を行う必要があります。